

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	41400	休日診療事業費		担当課	市民保健部 医療課	内線	2801
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめぐらして
	款	4	衛生費		分野	5	健康・保健・医療
	項	1	保健衛生費		基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する
	目	4	地域医療対策費		施策	2	救急医療体制の整備
	根拠計画						
実施計画事業	休日診療事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・市民が休日等に急病になったときに受診できる医療体制を整え、市民全体が安心して暮らせるようにする		
概要	事業の実手法(手段)	・1次救急医療確保の一環として、休日(日・祝・年末年始)の医科及び歯科診療所を開設		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	休日診療所開設状況 〔医科〕69日開設 患者数1,265人 〔歯科〕52日開設 患者数 99人					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	延べ診療日数	日	目標値	70	69	69
		実績値	70	69	69		
	成果指標	算出根拠等	診療実日数/年	達成率(%)	100	100	100
		延べ利用患者数(医科)	人	目標値			
	成果指標	算出根拠等	延べ患者数/年	達成率(%)	1,415	1,338	1,265
		延べ利用患者数(歯科)	人	目標値			
	成果指標	算出根拠等	延べ患者数/年	達成率(%)	116	99	99
		算出根拠等		達成率(%)			
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)			
		算出根拠等		達成率(%)			
	補足事項						
	コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額	
		歳出(千円)		(A)	16,157	18,407	16,003
受益者負担(使用料・負担金等)			12,554	11,724	12,037		
その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
一般財源			3,603	6,683	3,966		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	174	200	175	
	受益者		(B)	92,861	92,097	91,605	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・休日等の救急医療体制の充実については、市民のニーズも高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市が休日診療所を開設することにより、救命救急センター等を利用する軽症患者が減ることで勤務医の疲弊軽減につながり、本来の患者の重症度合に応じた救急医療機関の役割を果たすことができる
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・医科では小児患者の利用が多いものの、歯科診療の利用度合が低い
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・医師については医師会会員(開業医等)の輪番制で行っており今後も継続する ・市内の救急医療確保という点において、受益者1人当たりのコストは適正である
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・1次救急医療の一環として休日診療所を開設することにより、適正な高山市の救急医療体制の確保を図ることができ、市民が安心して医療が受けられる環境整備に寄与している
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることを何が必要なのかを記入)	・軽症患者の2次・3次救急医療機関利用回避のため、1次救急機関である休日診療所の利用を市民に周知する必要がある。
--	--

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・利用状況の把握・検証を行う必要がある。
----------------------	----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・広報紙、ヒッツFM、ヒットネットTV等を活用し、休日診療所の利用を随時呼びかけている。
------------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・休日の救急医療の確保は、市民がいつでも安心して医療を受けられる環境整備のため重要であり、今後も休日診療所を継続する。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・利用状況の把握・検証を行いつつ、第一次救急医療の確保に努める必要がある。					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	41410	地域医療対策事業費		担当課	市民保健部 医療課	内線	2801
予算	会計	1	一般会計	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	
	款	4	衛生費	分野	5	健康・保健・医療	
	項	1	保健衛生費	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	
	目	4	地域医療対策費	施策	1	地域医療体制の充実	
					2	救急医療体制の整備	
根拠計画							
実施計画事業 医師確保等支援事業 救急医療体制整備事業 医療施設整備事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・市民が安心して医療を受けられるよう地域全体における医療体制及び救急医療体制の確保と充実を図り、医療スタッフの疲弊を解消する		
概要	事業の実手法(手段)	市内中核病院への支援 ・医師及び臨床研修医等の確保に対する支援 ・高度医療機器整備に対する助成 他 救急医療体制の確保 ・救急医療施設(救命救急センター等)の運営費の助成 ・小児夜間初期救急診療運営費の助成(H25.8.1より休止) ・24時間電話健康医療相談の実施や救急早見表の配布		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	・高山日赤・久美愛厚生病院へ医師確保や医療機器整備等に対する助成を実施 ・久美愛厚生病院移転に係る建設等に対する助成を実施 ・高山赤十字病院の救命救急センター運営費等の助成を実施 ・24時間電話健康医療相談の実施 ・医学生等向けセミナーの実施					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	市内救急医療機関数(2次、3次)	箇所	目標値	2	2	2
				実績値	2	2	2
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	成果指標	市内中核病院の医師数	人	目標値	124	124	124
				実績値	91	88	90
				算出根拠等	達成率(%)	73	71
	成果指標	救急医療機関(2次、3次)利用者数	人	目標値			
				実績値	20,831	20,949	20,486
				算出根拠等	達成率(%)		
	成果指標			目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
	成果指標			目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	390,768	443,097	397,597	
	受益者負担(使用料・負担金等)			22,198	21,340	20,311	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			368,570	421,757	377,286	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	4,208	4,811	4,340	
	受益者		(B)	92,861	92,097	91,605	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・市民が安心して医療を受けられる環境及び救急医療の整備は、市民の健康や生命を守るために必要であり、ニーズも高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・高度医療機器等の整備や救急医療体制の維持は、その費用が高額なこともあり、民間病院だけでは困難であるため、引き続き市による支援が必要である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・久美愛厚生病院の移転に係る助成等、より質の高い医療提供環境が可能になっているが、依然として中核病院の小児科等の特定診療科医師の不足が続いている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・中核病院への補助金については成果等を検証する中で、更なる効果的な支援について検討していく ・補助金交付等により救急医療体制の充実を図っており、減額は事業の縮小に関わることから、受益者1件当たりのコストは適正であり、今後も継続していく必要がある
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	A	・久美愛厚生病院の移転に係る助成等、従来制度を拡充した支援を行っており、地域医療の充実を図ることができた
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		8 / 10	→	100点換算 80 点

分析・評価で明らかになった課題 (FA)評価にするために何が必要なかを記入)

・依然として医師不足が続いており、中核病院が行う医師確保や看護師確保につながる環境整備に対し引き続き支援が必要。
・地域の医療体制を確保・維持するため、市民・医療機関・行政の役割の確認が必要。

(参考) H26事業評価結果 (二次評価)

・引き続き医師確保に向けた積極的な活動を行う必要がある。
・医療機関への支援については、これまでの支援による効果の検証と医療機関の状況を踏まえた見直しを行う必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況

・市内中核病院の医療体制確保の支援については、ヒアリングを継続し実態に応じた対応を行う。
・地域全体の将来の医師確保のため、各方面への働き掛けや、将来の医療の確保に繋げる医学生等を対象としたセミナーの開催を引き続き実施する。
・高山市地域医療検討会議の委員の見直し。
・飛騨保健所を中心とし、飛騨圏域の医療体制を検討。

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・中核となる医療機関の医師等医療従事者の確保支援等について引き続き事業を実施する。 ・市民全体の医療環境の充実につながる中核病院の医療機器等の支援を引き続き実施する。 ・救急医療施設の運営支援については、市民が安心して暮らせるための基本であり、引き続き事業を実施する。 ・地元出身医学生等を対象としたセミナーを引き続き開催するなど将来の医療従事者の養成事業を実施する。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・引き続き医師確保に向けた積極的な活動を行う必要がある。 ・医療機関への支援については、これまでの支援による効果の検証と医療機関の状況を踏まえた見直しを行う必要がある。					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	11100	総務管理費		担当課	市民保健部 医療課	内線	2801
種別	3	国民健康保険事業特別会計(直営診療施設設定)		政策	2	「やさしさ」のあるまちをめぐらして	
会計	3	国民健康保険事業特別会計(直営診療施設設定)		分野	5	健康・保健・医療	
款	1	総務費		基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	
項	1	総務管理費		施策	1	地域医療体制の充実	
目	1	一般管理費					
根拠計画							
実施計画事業		直営診療所運営事業、診療所整備事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	対象者数	12,681 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実手法(手段)	・医療サービス、介護サービスの提供 ・予防接種、健診事業の実施 ・施設管理、施設整備		

2 事業の推移・結果(Do)

目的	H26の実績	診療所開設状況(6ヵ所) 延べ診察日数 1,338日 延べ利用患者数 31,239人				
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
活動指標	延べ診療日数(7ヵ所)(H24~6ヵ所)	日	目標値	1,410	1,410	1,410
	実績値			1,315	1,317	1,338
活動指標	算出根拠等	診療実日数/年×7ヵ所(H24~6ヵ所)	達成率(%)	93	93	95
	耐震改修実施数(改築含む)	棟	目標値	1	0	0
活動指標	算出根拠等	延べ患者数/年×15ヵ所(H24~12ヵ所)	達成率(%)	100		
	実績値			1	0	0
成果指標	延べ利用患者数	人	目標値	42,000	42,000	42,000
	実績値			36,087	32,128	31,239
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	86	76	74
			目標値			
成果指標			実績値			
	算出根拠等		達成率(%)			
成果指標			目標値			
	算出根拠等		達成率(%)			
成果指標			目標値			
	算出根拠等		達成率(%)			
補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)	(A)	166,889	65,866	66,787	
	受益者負担(使用料・負担金等)		49,844	61,730	60,559	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		4,414	4,136	6,228	
	一般財源		112,631	0	0	
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	9,255	5,010	5,161	
	受益者	対象施設診療圏域住民(利用患者)	(B)	18,033	13,147	12,941

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・遠隔地の医療確保に対する地域住民の要望は大きいことから必要性は非常に高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・へき地医療においては民間医療機関では特に採算制の面から事業の継続が難しいため、引き続き市による診療所の運営が必要である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・地域に唯一の総合的な医療を提供するかかりつけ医として、地域住民の安心安全な暮らしの実現を図るうえで「へき地診療所」は重要な役割を担っている ・施設設備の老朽化が進んでおり、適正な対応が必要である
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・後発医薬品の積極的な採用を図っている ・地域医療を確保するという事業の性格から判断して概ね適正である
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・直営診療所の適正な運営を図ることにより、市民がいつでも安心して医療が受けられる環境整備に寄与している
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		8 / 10	→	100点換算 80 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)

・業務の効率化や後発医薬品の利用割合の増と院外処方への移行のほかに、全体的な診療所体制等の検討が必要。

(参考) H26事業評価結果(二次評価)

・地域医療の状況を勘案しながら、医師の確保、施設の整備、業務体制の見直しを行う必要がある。
・院外処方への移行に伴う職員体制の見直しを検討する必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況

・医薬品の適正な使用についての内部調整。
・診療所の施設整備について引き続き検討を進める。
・診療所運営委員会において各診療所の情報を共有するとともに、体制及び診療の効率化を検討する。

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・老朽化している診療所・医師住宅の修繕など環境整備を行うとともに、南高山地域(久々野・朝日・高根)の診療体制を検証し、継続可能な医療体制の提供を検討する。					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・地域医療の状況を勘案しながら、医師の確保、施設の配置、業務体制の見直しを行う必要がある。 ・院外処方への移行に伴う職員体制の見直しを検討する必要がある。					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	21100	医療用機械器具費		担当課	市民保健部 医療課	内線	2801
予算	会計	3	国民健康保険事業特別会計(直営診療施設助定)	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	
	款	2	医療費	分野	5	健康・保健・医療	
	項	1	医療費	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	
	目	1	医療用機械器具費	施策	1	地域医療体制の充実	
根拠計画							
実施計画事業 診療所医療機器整備事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	対象者数	12,681 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実手法(手段)	・医療用機器の維持管理 ・医療用機器の更新		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	診療所開設状況(6カ所) 延べ診療日数 1,338日 延べ利用患者数 31,239人					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	延べ診療日数(7カ所)(H24~6カ所)	日	目標値	1,410	1,410	1,410
				実績値	1,315	1,317	1,338
				算出根拠等	診療実日数/年×7カ所(H24~6カ所)	93	93
	活動指標	医療機器更新台数	台	目標値	1	2	3
				実績値	1	2	3
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	成果指標	延べ利用患者数	人	目標値	42,000	42,000	42,000
				実績値	36,087	32,128	31,239
				算出根拠等	延べ患者数/年×15カ所(H24~12カ所)	86	76
	成果指標			目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
	成果指標			目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	14,290	16,074	17,999	
	受益者負担(使用料・負担金等)			10,011	10,920	10,912	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			4,279	5,154	7,087	
	一般財源			0	0	0	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	792	1,223	1,391	
	受益者 対象施設診療圏域住民(利用患者)		(B)	18,033	13,147	12,941	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・遠隔地の医療確保に対する地域住民の要望は大きいことから必要性は非常に高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・へき地医療においては民間医療機関では特に採算制の面から事業の継続が難しいため、引き続き市による診療所の運営が必要である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・地域に唯一の総合的な医療を提供するかかりつけ医として、地域住民の安心安全な暮らしの実現を図るうえで「へき地診療所」は重要な役割を担っている ・医療機器の老朽化が進んでおり、早期の計画的な更新が必要である
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・医療機器の保守点検を実施し、安全管理と高額修理の防止を図っている ・地域医療を確保するという事業の性格から判断して概ね適正である
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・一次医療機関である診療所において、効果的な診断が行える医療機器を導入することにより、市民がいつでも安心して医療が受けられる環境整備に寄与している
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・老朽化した医療用機器が多いため、適切な管理と計画的な更新が必要。
--	-----------------------------------

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・計画的な医療機器の更新や保守点検の実施により、安心・安全な医療サービスの提供の充実に努めていく。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・清見診療所の超音波診断装置及び荘川診療所、栃尾診療所のデジタルX線画像診断システムを更新予定。
------------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	・計画的な医療機器の更新や保守点検の実施により、安心・安全な医療サービスの提供の充実に努めていく。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	(担当課評価に同じ)					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	21200	医療用消耗機材費		担当課	市民保健部 医療課	内線	2801
予算	会計	3	国民健康保険事業特別会計(直営診療施設設定)	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	
	款	2	医療費	分野	5	健康・保健・医療	
	項	1	医療費	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	
	目	2	医療用消耗機材費	施策	1	地域医療体制の充実	
	根拠計画						
実施計画事業	直営診療所運営事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	対象者数	12,681 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・医療用消耗品、被服の購入		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	診療所開設状況(6ヵ所) 延べ診療日数 1,338日 延べ利用患者数 31,239人					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	延べ診療日数(7ヵ所)(H24~6ヵ所)	日	目標値	1,410	1,410	1,410
				実績値	1,315	1,317	1,338
				算出根拠等	診療実日数/年×7ヵ所(H24~6ヵ所)	達成率(%)	93
	活動指標	延べ利用患者数	人	目標値	42,000	42,000	42,000
				実績値	36,087	32,128	31,239
				算出根拠等	延べ患者数/年×15ヵ所(H24~12ヵ所)	達成率(%)	86
	成果面	算出根拠等	目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
	成果面	算出根拠等	目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
	成果面	算出根拠等	目標値				
実績値							
達成率(%)							
成果面	算出根拠等	目標値					
		実績値					
		達成率(%)					
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	6,236	5,525	5,453	
	受益者負担(使用料・負担金等)			5,817	5,525	5,453	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			419	0	0	
	一般財源			0	0	0	
コスト指標	受益者1件当たり円(A/B)			346	420	421	
	受益者 対象施設診療圏域住民(利用患者) (B)			18,033	13,147	12,941	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・遠隔地の医療確保に対する地域住民の要望は大きいことから必要性は非常に高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・へき地医療においては民間医療機関では特に採算制の面から事業の継続が難しいため、引き続き市による診療所の運営が必要である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・地域に唯一の総合的な医療を提供するかかりつけ医として、地域住民の安心安全な暮らしの実現を図るうえで「へき地診療所」は重要な役割を担っている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・在庫管理を徹底し共同発注を進める必要がある ・地域医療を確保するという事業の性格から判断して概ね適正である
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・直営診療所の適正な運営を図ることにより、市民がいつでも安心して医療が受けられる環境整備に寄与している
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・必要な医療用消耗機材の選定、計画的な購入、適切な在庫管理が必要。
--	-----------------------------------

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・患者の需要に応じた医療用消耗品の購入を適正に行うなど安心・安全な医療サービスの提供の充実に努めていく。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・必要な医療用消耗機材の選定、計画的な購入、適切な在庫管理を行う。
------------------	-----------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	・患者の需要に応じた医療用消耗品の購入を適正に行うなど安心・安全な医療サービスの提供の充実に努めていく。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	(担当課評価に同じ)					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	21300	医薬品衛生材料費		担当課	市民保健部 医療課	内線	2801
予算	会計	3	国民健康保険事業特別会計(直営診療施設設定)	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめぐして	
	款	2	医薬費	分野	5	健康・保健・医療	
	項	1	医薬費	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	
	目	3	医薬品衛生材料費	施策	1	地域医療体制の充実	
根拠計画							
実施計画事業 直営診療所運営事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	対象者数	12,681 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実手法(手段)	・医薬品の購入(内用薬、外用薬、注射薬)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	診療所開設状況(6ヵ所) 延べ診療日数 1,338日 延べ利用患者数 31,239人					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	延べ診療日数(7ヵ所)(H24~6ヵ所)	日	目標値	1,410	1,410	1,410
		実績値	1,315	1,317	1,338		
		算出根拠等	診療実日数/年×7ヵ所(H24~6ヵ所)	達成率(%)	93	93	95
	活動指標	延べ利用患者数	人	目標値	42,000	42,000	42,000
		実績値	36,087	32,128	31,239		
		算出根拠等	延べ患者数/年×15ヵ所(H24~12ヵ所)	達成率(%)	86	76	74
	成果指標	後発品占有率(契約品目ベース)	%	目標値	25	25	25
		実績値	23	23	27		
		算出根拠等	達成率(%)	92	92	108	
	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
算出根拠等		実績値					
算出根拠等		達成率(%)					
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円) (A)		161,937	119,623	55,465		
	受益者負担(使用料・負担金等)		128,026	94,188	34,039		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		33,911	25,435	21,426		
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円) (A/B)		8,980	9,099	4,286		
	受益者 対象施設診療圏域住民(利用患者) (B)		18,033	13,147	12,941		

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・遠隔地の医療確保に対する地域住民の要望は大きいことから必要性は非常に高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・へき地医療においては民間医療機関では特に採算制の面から事業の継続が難しいため、引き続き市による診療所の運営が必要である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・地域に唯一の総合的な医療を提供するかかりつけ医として、地域住民の安心安全な暮らしの実現を図るうえで「へき地診療所」は重要な役割を担っている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・在庫管理の徹底、共同発注及び後発品の積極的採用を行っている ・地域医療を確保するという事業の性格から判断して概ね適正である
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	A	・直営診療所の適正な運営を図ることにより、市民がいつでも安心して医療が受けられる環境整備に寄与している
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・医薬品の適切な発注と在庫管理、積極的な後発品の採用。 ・院内処方から院外処方への切替。
---------------------------------------	---

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・後発医薬品の利用を一層推進する必要がある。
----------------------	------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・品目削減の検討、定期的な在庫チェックの実施を継続して行う。 ・荘川診療所の院外処方への移行。
------------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・患者の需要に応じた医薬品の購入を通正に行うなど安心・安全な医療サービスの提供の充実に努めていく。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・後発医薬品の利用を一層推進する必要がある。					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	21400	医療業務委託料	担当課	市民保健部 医療課	内線	2801
会計	3	国民健康保険事業特別会計(直営診療施設設定)	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	
款	2	医療費	分野	5	健康・保健・医療	
項	1	医療費	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	
目	4	医療業務委託費	施策	1	地域医療体制の充実	
根拠計画						
実施計画事業	直営診療所運営事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	対象者数	12,681 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	主な医療業務の委託 ・代診医の派遣 ・血液検査、高度医療検査 ・歯科診療 ・介護サービス		

2 事業の推移・結果(Do)

成果 面	H26の実績	診療所開設状況(6ヵ所)	延べ診療日数	1,338日	延べ利用患者数	31,239人																																																																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標</td> <td rowspan="3">日</td> <td>目標値</td> <td>1,410</td> <td>1,410</td> <td>1,410</td> </tr> <tr> <td>延べ診療日数(7ヵ所)(H24~6ヵ所)</td> <td>実績値</td> <td>1,315</td> <td>1,317</td> <td>1,338</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>達成率(%)</td> <td>93</td> <td>93</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td rowspan="3">人</td> <td>目標値</td> <td>42,000</td> <td>42,000</td> <td>42,000</td> </tr> <tr> <td>延べ利用患者数</td> <td>実績値</td> <td>36,087</td> <td>32,128</td> <td>31,239</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>達成率(%)</td> <td>86</td> <td>76</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td rowspan="3">%</td> <td>目標値</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>代診医派遣回数 ※高山赤十字病院からの派遣</td> <td>実績値</td> <td>95</td> <td>95</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>達成率(%)</td> <td>95</td> <td>95</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7">補足事項</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">コスト 面</td> <td colspan="2">事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)</td> <td>H24 決算額</td> <td>H25 決算額</td> <td>H26 決算額</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">歳出(千円)</td> <td>(A)</td> <td>33,980</td> <td>35,587</td> <td>30,530</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者負担(使用料・負担金等)</td> <td></td> <td>31,960</td> <td>33,173</td> <td>26,505</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他特定財源(国・県支出金・起債等)</td> <td></td> <td>2,020</td> <td>2,414</td> <td>4,025</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般財源</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト 指標</td> <td>受益者1件当たり(円)</td> <td>(A/B)</td> <td>1,884</td> <td>2,707</td> <td>2,359</td> </tr> <tr> <td></td> <td>受益者</td> <td>対象施設診療圏域住民(利用患者)</td> <td>(B)</td> <td>18,033</td> <td>13,147</td> <td>12,941</td> </tr> </tbody></table>							指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	活動指標	日	目標値	1,410	1,410	1,410	延べ診療日数(7ヵ所)(H24~6ヵ所)	実績値	1,315	1,317	1,338	算出根拠等	達成率(%)	93	93	95	活動指標	人	目標値	42,000	42,000	42,000	延べ利用患者数	実績値	36,087	32,128	31,239	算出根拠等	達成率(%)	86	76	74	成果指標	%	目標値	100	100	100	代診医派遣回数 ※高山赤十字病院からの派遣	実績値	95	95	47	算出根拠等	達成率(%)	95	95	47			目標値						実績値						達成率(%)						目標値						実績値						達成率(%)						目標値						実績値						達成率(%)				補足事項							コスト 面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		歳出(千円)		(A)	33,980	35,587	30,530	受益者負担(使用料・負担金等)			31,960	33,173	26,505	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			2,020	2,414	4,025	一般財源			0	0		コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,884	2,707	2,359		受益者	対象施設診療圏域住民(利用患者)	(B)	18,033	13,147	12,941
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26																																																																																																																																																																
	活動指標	日	目標値	1,410	1,410	1,410																																																																																																																																																																
	延べ診療日数(7ヵ所)(H24~6ヵ所)		実績値	1,315	1,317	1,338																																																																																																																																																																
	算出根拠等		達成率(%)	93	93	95																																																																																																																																																																
	活動指標	人	目標値	42,000	42,000	42,000																																																																																																																																																																
	延べ利用患者数		実績値	36,087	32,128	31,239																																																																																																																																																																
	算出根拠等		達成率(%)	86	76	74																																																																																																																																																																
	成果指標	%	目標値	100	100	100																																																																																																																																																																
	代診医派遣回数 ※高山赤十字病院からの派遣		実績値	95	95	47																																																																																																																																																																
	算出根拠等		達成率(%)	95	95	47																																																																																																																																																																
			目標値																																																																																																																																																																			
			実績値																																																																																																																																																																			
			達成率(%)																																																																																																																																																																			
		目標値																																																																																																																																																																				
		実績値																																																																																																																																																																				
		達成率(%)																																																																																																																																																																				
		目標値																																																																																																																																																																				
		実績値																																																																																																																																																																				
		達成率(%)																																																																																																																																																																				
補足事項																																																																																																																																																																						
コスト 面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額																																																																																																																																																																	
	歳出(千円)		(A)	33,980	35,587	30,530																																																																																																																																																																
	受益者負担(使用料・負担金等)			31,960	33,173	26,505																																																																																																																																																																
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			2,020	2,414	4,025																																																																																																																																																																
	一般財源			0	0																																																																																																																																																																	
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,884	2,707	2,359																																																																																																																																																																	
	受益者	対象施設診療圏域住民(利用患者)	(B)	18,033	13,147	12,941																																																																																																																																																																

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・遠隔地の医療確保に対する地域住民の要望は大きいことから必要性は非常に高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・へき地医療においては民間医療機関では特に採算制の面から事業の継続が難しいため、引き続き市による診療所の運営が必要である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・地域に唯一の総合的な医療を提供するかかりつけ医として、地域住民の安心安全な暮らしの実現を図るうえで「へき地診療所」は重要な役割を担っている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・市内中核病院との連携については、代診医派遣や患者紹介、高度医療機器の共同利用を行っている ・診療所間連携については、医師、看護師等の人的応援を行っている ・地域医療を確保するという事業の性格から判断して概ね適正である
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・直営診療所の適正な運営を図ることにより、市民がいつでも安心して医療が受けられる環境整備に寄与している
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・市内中核病院との連携をさらに進め、広域の視点から見た体制づくりや連携に向けた検討が必要。
---------------------------------------	---

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・引き続き採算性向上のため、診療所間及び中核病院との連携を強化し効率的で機能的な診療体制の充実に向けていく。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・市内中核病院と連携を密にし、広域的な体制づくりの検討を行っている。
------------------	------------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	・引き続き採算性向上のため、診療所間及び中核病院との連携を強化し効率的で機能的な診療体制の充実に向けていく。					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	(担当課評価に同じ)					